

S 未来都市への選定やジャパンアスリートトレーニングセンター大隅を中心とした国内外トップアスリートの合宿などによる交流人口の増加、豊富な農畜産物及び特産品を背景としたふるさと納税による新たな財源確保などの成果が現れています。

今回策定した『第2期大崎町総合戦略』では、『第1期大崎町総合戦略』の効果や分析結果を検証し、取組みの継続や強化だけでなく、関係人口創出やSDGsの視点なども盛り込んだ4つの基本目標を設定しています。

今月号では、『第1期大崎町総合戦略』の検証と『第2期大崎町総合戦略』の概要をお知らせしたいと思います。

また、『第2期大崎町総合戦略』は町ホームページに掲載しておりますので、ホームページを見ていただくか、左記QRコードからご覧ください。



まずは 第1期大崎町総合戦略の検証をしてみよう!

※検証データは2020年3月時点に更新しています。

基本目標① まちに安定した雇用をつくる

【数値目標】 5年間で100人の雇用の創出を図ります
企業立地に伴う新規雇用及び新規就農者などが順調に進捗し『5年間で100人の雇用創出』という数値目標を上回りました。

125人増

基本目標② “おおさき” への新しいひとの流れをつくる

【数値目標】 5年後（2020年）の交流人口を2014年比（37.1万人）20%増加させます
「道の駅野方あらさの」の供用開始等により、交流人口が増加し数値目標を上回りました。

200%増

【数値目標】 5年間で130人以上の社会増を図ります
社会増減については、転出が転入を上回る社会減に歯止めがかからず、2020年3月末の5年間で366人の減で、数値目標は未達成となっています。

282%減

基本目標③ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

【数値目標】 5年間の合計特殊出生率1.81pt以上を維持します

【数値目標】 5年間で出生者数500人を実現します
年齢別人口ピラミッドで20～30歳代の幅が狭いびつな形となっている影響から、2020年1月末で出生者数が433人となり、数値目標である500人の出生者数は未達成となっています。

1.65Pt
※H29年の単年データを参考
86.6%

基本目標④ 時代にあった地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに地域と地域を連携する

【数値目標】 5年間で自主防災組織率95%を実現します。
【数値目標】 光ブロードバンド人口カバー率80%以上を実現します

各自治公民館の防災意識の高まりなどから、自主防災組織率が95%を超え、数値目標を達成しています。また光ブロードバンド人口カバー率も83.8%と数値目標を達成しています。

95.8%
83.8%